



〈地域の課題解決をめざすためのヒント集〉

# 作戦帳

# まちづくり

# 元気にする

# 地域を



## 第1号 (全3号)

このパンフレットでは、3回にわたって「まちづくり協議会」や「ぼっけーまち会議（若者会議）」による地域の課題解決の方法や具体的な取り組み内容を紹介します。



「つながりづくり」から  
「地域の課題解決へ」！  
地域が本当に解決したい  
課題を解決するために

笠岡市のまちづくりは、自治会・町内会や公民館、NPOなどの市民活動によって支えられています。その中で、まちづくり協議会は、これまで主に「つながりづくり」を中心に取り組んできました。地域のつながりは、まちづくりの、いわば土台・基礎であり、欠かせないものです。

ある程度その地域内で「つながりづくり」ができたなら、次は「地域の課題解決」を目指していきます。

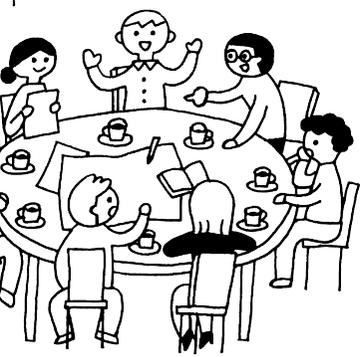
「地域の課題とは何か」「どうしたら課題解決できるか」という目線で再度地域を見直し、そして、「地域の中で取り組めないか」「各種団体や行政との連携で取り組めないか」を検討します。そのうえで活動に取り組みば、地域の課題を解

# 地域での 課題解決への 取り組み方

## 02

### 地域の課題について 話し合う (第2号で詳しく紹介)

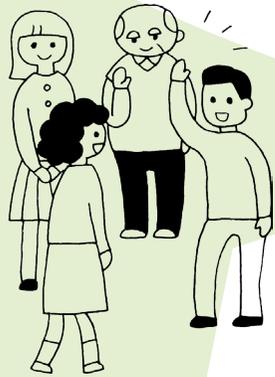
次は、できるだけ多くの立場にある人が話し合える場づくりが必要になります。このとき、ワークショップの開催や地域アンケートの実施などにより、広く情報や意見を集める方法があります。また、目標を設定し共有すると、多くの人で取り組みやすくなります。



## 01

### お互いを知る・ 地域の実情を知る (つながりづくり)

一人ではまちづくりはできません。互いを知り、交流をすることで初めて地域の実情を知ることができます。また、現在ある組織や団体に取り組んでいることを知り、整理しておくことも大事です。



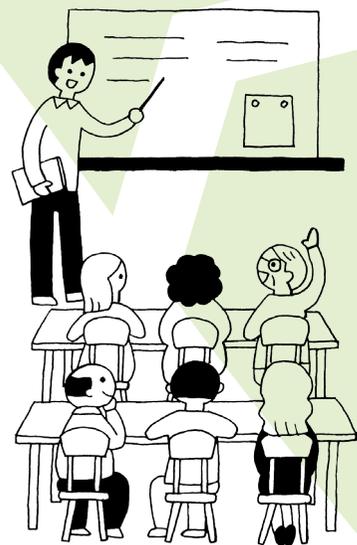
決できるようにあります。市もそうした地域の取り組みを積極的に支援していきます。

これから、3回にわたって、地域の課題を解決するための具体的な取り組みを紹介します。ぜひ、参考にしてください。

# 04

## 取り組み内容を振り返る

活動が完了したときや、区切りのよい時期にみんなで活動の評価をしましょう。目標を達成できていれば、新たな課題はないかを考えます。また、目標を達成できていなければ、どのような原因が挙げられるかを考えます。さらに、事業を継続する場合は、改善できる点はないか、予算について、今後持続可能かどうかという観点から見直していく必要があります。



# 03

## 地域の課題解決に 取り組む

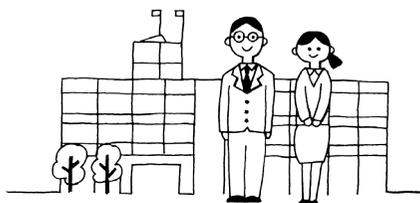
(第2号・第3号で詳しく紹介)

次は実行です。地域で対応できるものについては、解決に向けて取り組んでいきます。地域だけでは対応できないものについては、関係機関へ相談してください。分からない場合は、協働のまちづくり課へ相談してください。

## point

### 情報を共有する

01〜04の各段階において、情報を共有することは、活動への理解を得るために有効です。会報紙、回覧、チラシをはじめ、ホームページやSNS（ツイッター・フェイスブック等）、あるいは口コミ等によって積極的に周知しましょう。



次号からは、協議会の取り組みを紹介します！

子どもたちにもバスに親しみをもってもらおうとバスの乗り方教室や車内アナウンス体験を実施



大切な市民の交通手段なのだから、もっと活用できるよう工夫し、地域で守り育てたい。



バスに乗り隊！プロジェクト

実政加奈子さん (リーダー・写真右)  
仁科恭子さん (写真左)



自分の目的地の記載がないバス停の表示に不安になったことはないだろうか。「バスに乗り隊！」リーダーの実政加奈子さんは、2年前に笠岡市へ越してきた時から、バス停の表示方法に戸惑いがあったそうだ。「乗り慣れていないと住民でもわかりにくく、転入者や旅行者はもっと困るだろう。ぼっけーまち会議をきっかけに、バスのプロジェクトをやりたいと思った。」



7月のプロジェクト立ち上げと同時に、笠岡市と株式会社井笠バスカンパニーとの話し合いがはじまった。まずは、9月開催の交通安全フェスティバルへ参加。バスに親しみをもってもらうきっかけづくりとして、子どもを対象としたバスの乗り方教室や、車内アナウンス体験を企画・運営した。また、話し合いの中で、実政さんらは「バス停」に着目。市内のバス停の写真をひとつひとつ撮り貯め、その間

「数年前に、井笠鉄道株式会社が経営破綻したときの衝撃は忘れられない。大切な市民の交通手段なのだから、もっと活用できるよう工夫し、地域で守り育てなければ」と語るのには、会計を担う仁科恭子さん。今年度は、一部路線にターゲットをしぼって活動を行う予定。ひとつひとつ実績を積み上げて信頼を得ることが狙いだ。日々の暮らしの中で発見された課題を、着実に解決していこうとする姿勢から、地域と真摯に向き合う心が伝わってくる。

「善策を提案・実行する予定だ。順調に進んでいる「バスに乗り隊！」の活動だが、プロジェクト立ち上げ時はうまくいくか不安が大きかったそうだ。しかし、話し合いやイベントをするうちに共感が広がり、最初は3人だったメンバーも11人に増えた。」



ぼっけーまち会議 (若者会議) とは？

「婚姻率上昇」「希望する子どもの数が持てる」「転出抑制・転入促進」の3つのテーマについて、若者が自ら考え、企画し、実行するという取り組みです。平成28年1月から毎月1回開催しており、これまで延べ約500人の若者が参加しました。現在、約10のプロジェクトが進行中で、その一部を各号で紹介します。ウェブページ：<http://www.bokke-machi.com> (11月開設予定)